



自ら機会を作り出す
人材を輩出する

2025 10

SOEN

語れる体験はあるか



学びは学校だけじゃない
地域というフィールドで
可能性を広げていく

For Others
in Christ
広島三育学院



「語れる体験はあるか」
ソアンは広島三育学院が運営している
社会体験型教育プログラムです

ソアンは、2025年1月に広島空港主催の「プロポーザル大会」(地域創生の課題解決策を提案する高校生対象の大会)に出場し、その提案内容が評価され最優秀賞をいただくことができました。今年度に入り、その提案内容である三原市にある唯一の島「佐木島」の柑橘を使った入浴剤の商品開発に取り組んでいます。

その活動の一環で、先日生徒たちと一緒に佐木島に行き、引地さんという佐木島で大きな農園を持つ方の摘果作業をお手伝いしました。

引地さんはのりちゃんという呼び名で親しまれている方です。作業後には、ご自宅で食事をご用意くださり、一緒に帯同していた地域支援員の石川さんと共に食事をいただきました。食事前に皆で祈る機会が与えられ、生徒が

「のりちゃんにご飯を作ってくれて本当に感謝です。楽しい食事となりますように。」

と名前を呼んで祈ると、共に祈りに参加していたのりちゃんの嬉しそうな声が聞こえました。

名前を呼ぶ祈りは、相手を“対象”ではなく隣人として迎え入れる小さな一歩であったと思います。

よいサマリア人のたとえで、律法の専門家は「私の隣人は誰か」と境界線を確認めようとします(ルカ10:29)。

しかし、イエス様は問いを反転させます—「あなたが隣人になったのは誰か」(10:36)。

良きサマリア人のたとえでは、サマリア人は“近づき”(10:34)、具体的に手をかけました。

同じように、地域へ出て(近づき)／困り事に手を入れ(仕え)／食卓を囲み祈る(関係を結ぶ)とき、私たちは「誰が隣人か」を議論する前に、隣人になる道を選んでいるのだと考えています。

私は、イエス様はソーシャルアントレプレナーであったと考えています。

ソアンでは、生徒たちが積極的に地域に飛び出し、社会課題に触れるプロジェクトを実践しています。それは、単なる「体験」にとどまるものではなく、

イエス様を知らない人たちに、イエス様の姿を感じさせることなのではないでしょうか。

そして、それを実現できているのは、クリスチャンである教職員の関わりが生徒に伝わり、表面ではなく深層から湧き出るアクションに変わっている、そう感じています。教室の外で、のりちゃん、石川さんと同じ卓を囲み、名を呼んで祈る—その具体的な一歩が、福音のかたちを地域に刻むと思っています。(ルカ10:7)。

「よいサマリア人の物語を通して、キリストは真の宗教の本質を例示しておられる。真の宗教は、制度や、信条や、儀式にあるのではなくて、それは愛の行為を実行すること、他人に最高の幸福をもたらすこと、真の親切さにあることを、キリストは示しておられる。」
(「各時代の希望」(中巻)299頁)

こうして、「わたしの隣り人とはだれのことですか」という質問は永久に答えられた。キリストは、われわれの隣人とは、われわれが属している教会や信仰の隣人だけではないことをお示しになった。」
(「各時代の希望」(中巻)306頁)

ソアンの行動規範は「まず私たちがすべきことは行動である」としています。これからも、地域での活動を通して生徒たちが神様を証しすることのできる機会を作り続ける活動に取り組んでいきたいと思っています。

ソアン代表 中村光

「あなたの隣人は誰か」



第一次産業に 関わるということ

「手のひらに土、爪の隙間に季節」

業に頼らず育てる選択は、作り手の覚悟を知る入口。

「食が生まれる現場」に立つと、学びはニュースではなく自分の物語になる。失敗も収穫も、語れる履歴書へ。地域の食卓で、技術より先に生き方を受け取る。



地域の方との食卓と対話が、知識を知恵に変える



摘果みかんの活用

01

02



無農薬みかんジュース

青い実は、ただ間引かれるために生まれてきたわけではありません。私たちはその価値を、やさしい味わいと香りと育てていきます。はちみつに漬けて仕上げた一杯を全校で分かち合うと、無農薬ならではの澄んだ酸味が、校内の心をそっとつなげてくれます。



世界に一つだけの入浴剤

天日干して仕込む入浴剤は、島の太陽の記憶を閉じ込めた手づくりの贈り物です。小さな工夫を重ねること、残りある資源をいかし、学びにやさしい輪郭が生まれていきます。

※こちらは2月に広島空港での配布を予定しています。



地域の恵みを 価値に変える、 実践型キャリア教育

社会福祉法人みどりの町が運営するぶどう園で収穫した実でつくる「まぼろしのぶどうパフェ」を、企画販売しました。「まぼろし」の理由は、旬と手間にあります。社会福祉法人みどりの町が運営するぶどう園で丁寧に収穫された果実を、その瞬間の甘さが主役のパフェにしました。高校生がチラシとレシピで世界観を設計し、中学生が試作と当日の販売オペレーションを担いました。立場の違うチームが同じ目的に向かうことで、計画・実行・振り返りの循環が回り、地域への感謝が具体的な行動に変わる。特産品を学びに変え、学びを貢献に変える——その橋渡しが、今回のパフェです。

さらに、この現場は福祉×農×教育が交わる学びの交差点。福祉の現場から受ける「働くことの尊厳」、農の現場が教える「いのちと季節へのまなざし」、そして教育が担う「問いを立てて価値をつくる力」。この三つが同時に立ち上がるから、学習効果は深く、長く残ります。商品設計・衛生管理・動線づくり・接客コミュニケーション・ブランド表現——教科書では触れられない実践スキルが、地域との協働という文脈の中で有機的に結び直される。ひとりの「おいしい」が、子どもたちの「できた」に直結し、まちの「うれしい」へと広がっていく。そんな価値の連鎖を生む体験でした。

語れる体験はあるか——ソアンニュース10月号/ソアン広島



まぼろしのぶどうパフェ
価値の連鎖をひと口に。

当日は笑顔とともに店頭へ。「つくる」から「届ける」までを一気通貫で体験した一日。地域の特産を地域に還す。福祉と農業と学校が交わると、学びは教室を超えて「まちの力」になる。

ソアンの関わり方



1 ぶどう園看板塗り

たくさんのお客さんが来てもらえるように、ぶどう園の看板を塗り直しました。

2 レシピとチラシ作成

パフェのレシピとチラシを高校生が考案しました。

3 試作会

中学生がレシピに沿って試作品を作りました。

4 仕上げと盛り付け

当日、キッチンカーに乗り、「まぼろしのぶどうパフェ」を販売しました。

語れる体験はあるか——ソアンニュース10月号/ソアン広島



実行委員



大学生とオンラインミーティング

地域を知る



伝統に触れる、未来に手を添える。

広島市立大学×ソアン

本企画は、広島市立大学の学生と中学生がチームを組み、複数回のミーティングを重ねてイベントを設計・運営する実践プログラムです。アジェンダ作成、役割分担、リスク管理、広報動線、当日オペレーションまでを一気通貫で担当。年齢の違うメンバーと成果物で対話する経験が、ファシリテーション力と“やり切る力”を育てます。

地域の歴史は、いまでも上演中。

私たちは地域の“アイデンティティの設計図”を見た気がします。音・所作・段取り、そして裏方の連携—そのすべてが、地域の歴史を次の世代に渡すための仕組みでした。観る体験は、継承の重さと尊さを自分事に変えます。文化は保存物ではなく、参加の積み重ねでしか続かない。だからこそ、この体験は深く、長く残ります。学びが文化を支え、文化が学びを鍛えていきます。

ソアンでは公式LINEにて、最新の情報やどこよりも早いソアンニュースデジタル版をお届けしています。公式LINEに公式HPやパートナーズHPのリンクがありますので、ぜひご登録ください。



学校の玄関にあるソアンボードが、生徒の手で生まれ変わりました。飾りではなく、ソアンの「今」を届けます。写真や言葉に込めたのは、「もっと知ってほしい」というまっすぐな気持ち。来校の際は、三十秒だけ足を止めてください。そこから、私たちの挑戦が動き出します。

掲示板ではなく、招待状。



沖縄だからできることがある

ソアン沖縄の「語れる体験」

【地域貢献】

日頃お世話になっている、名護市旭川区の公衆トイレのお掃除をさせて頂きました。地域の方の少しでもお役に立てるよう、奉仕活動が続けていきます。



【地域探索】

今年も名護市にあるパイナップルパークへ行ってきました。地域の農産物であるパイナップルについて、美味しく楽しく学ぶ事ができました。

【地域貢献】

隣接する老人福祉施設シャローム名護にお手伝いに行ってきました。今回は敷地内にあるシークワサーの収穫をさせて頂きました。今後も定期的にご奉仕させていただきます。

【職業探索】

沖縄美ら海水族館のナイトアクアリウムに行ってきました。夜の水族館は神秘的で、日中とは違う雰囲気を感じる事ができました。たくさんの事を学ぶ貴重な時間を過ごしました。

確実に「自ら機会を作り出せる」生徒が育っています。



ソアンプロジェクトお知らせ



ソアン協賛のご案内



応援という形で

ソアンに関わる



THANK

ソアンの活動に「応援」という形で関わるソアンパートナーズ制度のご案内です。ソアンでは生徒の「語れる体験」を積み重ねるため、ソアンパートナーズの皆様の協賛金から必要な活動費を使わせていただいております。

「応援」という形でソアンに関わっていただけの方を募集しています。

新しいソアンパートナーズが動きます。



協賛申込みフォーム



ソアンパートナーズ(協賛者)限定の公式LINEがリリースされました。2025年以降の協賛者を対象としています。ソアンに「応援」という形で関わりたい方はぜひ以下のフォームにアクセスしてください。

年間1万円以上のソアン協賛でソアンパートナー限定オリジナルTシャツプレゼント!



年間3万円以上で、シークレットソアングッズがもらえる!



ソアンパートナーズ 協賛・協力企業等一覧



ソアンを 応援する

協賛金：2,245,033円
※6月現在

ソアンプロジェクトにご協賛・ご協力いただきありがとうございます。

一般社団法人サムワン基金 おんおくり奨学金

次世代へ「より良い社会を受け継いでいく」という願いを込めて。
「社会貢献を喜びとする」人物を目指す人にぜひ受け取っていただきたい。
これまでにない全く新しい奨学金の制度です。
「未来への贈与」誰かのために奨学金を求めず働くことを通して「社会の奉仕者になることを希望する」
高校生とその保護者に対し、その意思と姿勢を評価し給付する奨学金です。将来、社会人になった時に
「誰かのために働くこと」「社会に奉仕すること」が当たり前になる人物を育成します。



医療法人社団 飛翔会 寛田 司 様

医療法人社団 飛翔会の理事長の寛田司です。私は広島三育学院の前身の日本三育学院の卒業生で、
子供達三人は広島三育学院卒業生です。当法人にも二名の卒業生がいます。当法人は、整形外科・
内科・皮膚科に力を入れ、プロスポーツチームのケアの経験を通して、スポーツ障害・外傷までを対象として、診療から検査、リハビリテーションまで一貫したシステムで診
療を行っています。スポーツ医学の経験を一般診療に活かし、「運動」を用いた予防医療、生活習慣病治療を日々実践しています。また、アスリートに対しては、スポ
ーツ医学とその動作を考慮して、体力、柔軟性、バランスを重視したコンディショニングも行い、早期回復を支援しています。

HISHOKAI 飛翔会グループ

広島三育学院後援会

後援会は、卒業生、保護者と親戚による広島三育学院の応援団です。今の時代に必要で広島三育学院の教育を様々な形で応援します。

sakai family fund

ミツケサロン代表

第三回卒業生 坂井 等 様

"Let's start giving."

"なえることから始めよう"



株式会社スマイルアグリ(SMILE-LABO HIROSHIMA)

農を通じて、一人一人の笑顔があらわれる豊かな未来を創造し「笑顔」が絶えない地域社会を築くための研究所。社員一人一人が研究者であり、笑顔が生まれるために必
要なもの。笑顔が絶えずことない持続性。笑顔がもたら未来を見据えて大和町、三原市、広島県から世界へ、笑顔と共に事業発展と社会貢献に邁進します。

株式会社とまとはうすコーポレーション 吉岡 康仁 様

広島県三原市大和町で17代目の米産家をしております。無農薬米、減農薬米を中心に栽培しながら、お客様の幸福もしております。広島県三原市大和町より、皆様を必
ずしてまいります。

社会福祉法人みどりの町(Greentown Peace Project)

わたしたちは、国がいのちある、なしにかかわらず、自分らしく、美しく、心が豊かで平和な暮らしが実現できる地域共生社会の実現を目指す社会福祉法人です。

ソアンパートナーズ

海老原 行男 様	田中 仁美 様	神見 大地 様
亀山 増人 様	賀輪 文子 様	村上 寛 様
下地 英樹 様	森山 元氣 様	藤谷 直子 様
曾根 俊二 様	中村 修 様	松田 健 様
上田 洋一 様	上田 昇子 様	石川 哲也 様

ソアン協賛
申し込みフォーム



株式会社創心万華鏡 三育フーズ株式会社

ソアン「で」支える。ソアン「を」支える。
応援の形はそれぞれの形で。

ソアンで「誰か」を支えたい。その「ソアン」を支えたい。その思いをソアンパートナーという形で応援してあげよう。

